



私たち文化財をとおして
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。

あいでやす整理室

滋賀のお宝と考古学のお仕事 大公開!!

ごあいさつ

滋賀県立安土城考古博物館には、滋賀県内の発掘調査で見つかった出土品を整理・調査する部屋があります。スタッフによる地道な作業が積み重なり、新たな発見につながっていきます。その作業を行っている部屋を夏休み2日間限定で特別公開します。ぜひ間近で“滋賀のお宝”と考古学に触れてみてください。

整理作業ってなんだろう？

整理作業の主な内容は、^{はっくつちょうさ}発掘調査で見つかった出土品の“^{しりょうか}資料化”^{どき}を行なうことです。^{せいいりしつ}整理室では、土の中でバラバラになった土器を元の形に戻したり、測って図にしたりしています。スタッフたちの熟練のワザを、ぜひ間近でご覧ください。



滋賀県文化財保護協会の
最新情報はこちら



© 早田まな



とき：令和3年7月31日（土）・8月1日（日）

主 催：公益財団法人滋賀県文化財保護協会
共 催：滋賀県

瓦でつながる！？「蜂屋寺」と法隆寺

かわら はちやでら ほうりゅうじ

リッとうしはちやいせき
栗東市蜂屋遺跡 -

1. 蜂屋遺跡の発掘調査

蜂屋遺跡は、栗東市蜂屋にある縄文時代（約3,500～約3,000年前）から江戸時代（約400～約150年前）にかけての集落跡です。平成28年度から令和元年度にかけて行った発掘調査で、古墳時代（約1,800～約1,500年前）の竪穴建物跡や奈良時代（約1,300～約1,200年前）の掘立柱建物跡などがたくさん見つかっています。

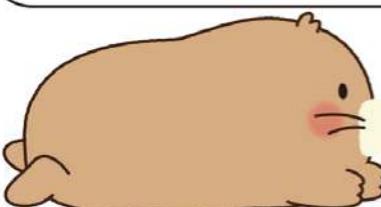
とくに、蜂屋の集落には、古代に蜂屋寺というお寺があったという伝承がありましたが、お寺があったことを想像させる「宗寺」という地名がついた場所で、飛鳥時代後半（約1,300年前）のたくさんの瓦とともに、お寺を囲んでいた塀の跡が見つかりました。



2. お寺が建てられる前（縄文時代～古墳時代）

縄文時代の土器や石器が見つかっているほか、古墳時代では竪穴建物跡数十棟などが見つかりました。

これらはもともと、蜂屋の土地が豊かで住みやすかったことを示しています。



人びとのくらしを想像してみよう



古墳時代の竪穴建物跡群

3. 発掘された古代の瓦—法隆寺とのかかわり

蜂屋遺跡で見つかった軒瓦の多くは、法隆寺で使われていたものと同じ文様でした。また、「忍冬文单弁蓮華文軒丸瓦」は、法隆寺のものと同じ木型で作られたものとわかりました。



くわしくはこちら



忍冬文单弁蓮華文軒丸瓦

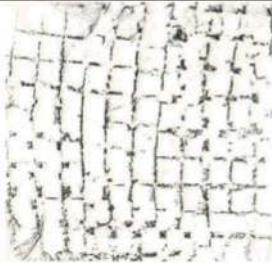


法隆寺式軒丸瓦（上）

法隆寺式軒平瓦（下）

4. 瓦に残る跡

瓦をよく見てみると、膨らんでいる側には格子模様や縄の跡、へこんでいる側には布の跡があります。これらは瓦を作るとき、粘土を板で叩き締めた痕跡や、粘土が型に貼り付かないように使った布の痕跡なのです。



格子模様の板で叩いた跡



縄を巻いた板で叩いた跡



布の跡



出土した大量の瓦

5. お寺がなくなった後（奈良時代～鎌倉時代）

蜂屋遺跡にあったお寺は、約50年間と短い期間でなくなってしまったようです。続く奈良時代では、倉庫と考えられる大型の建物跡が何棟も見つかっています。

また鎌倉時代（約800～約700年前）でも、溝で囲まれた屋敷跡からたくさんの食器が見つかりました。



見つかった鎌倉時代の屋敷跡

自由研究のテーマに…見に行ける古代のお寺

近江国（滋賀県）は飛鳥～奈良時代に都が置かれていた大和国（奈良県）について古代のお寺が多く作られました。県内には、発掘調査で見つかったお寺の跡が、公園になっている所がいくつかあります。当時の姿を想像しつつ、この夏、見に行ってみてはいかがでしょうか？

崇福寺跡（大津市滋賀里町甲、国史跡） 天智天皇が大津宮を造営した翌年（668年）に大津宮を守るために建立したと伝わります。金堂跡や弥勒堂基壇、塔基壇などが残されています。

瀬田廃寺（大津市神領・野郷原） 近江国分寺と考えられ、野郷原公園として整備されています。発掘調査で、金堂や僧房、回廊、築地塀などが確認されています。塔跡の礎石が残されています。

内裏野廃寺（甲賀市信楽町黄瀬・牧、国史跡紫香楽宮跡内裏野地区） 聖武天皇が発した大仏造顕の詔（743年）により、大仏の骨組が組まれた甲賀寺と考えられています。金堂跡などの建物の礎石が残されています。

法堂寺廃寺跡（東近江市佐野町、県史跡） 能登川周辺を治めていた豪族が建立した、五重塔の礎石などが残されています。法堂寺遺跡公園として整備されています。

★整理作業中の遺跡紹介★

びんまんじいせき

敏満寺遺跡 (多賀町)

ちゅうせい
敏満寺遺跡は中世の寺院跡を中心とした遺跡です。令和2年度の
むらまちじだい
発掘調査では、室町時代の掘立柱建物跡や縄文時代の竪穴建物跡など
ほったてばしらたてものあと
じょうもんじだい
たてあなたたものあと
が見つかりました。縄文時代の遺物では、サヌカイト製の石鏃や
いぶつ
せきそく
縄文土器があります。

おおの ふもんみみなみいせき

大野・普門南遺跡 (大津市)

こふんじだい
大野・普門南遺跡では、これまでに古墳時代の竪穴建物跡や平安
へいあん
時代の掘立柱建物跡などが発見されていました。令和2年度の発掘
じょうじだい
調査でも、同じ時代の竪穴建物跡や掘立柱建物跡などが見つかりま
した。

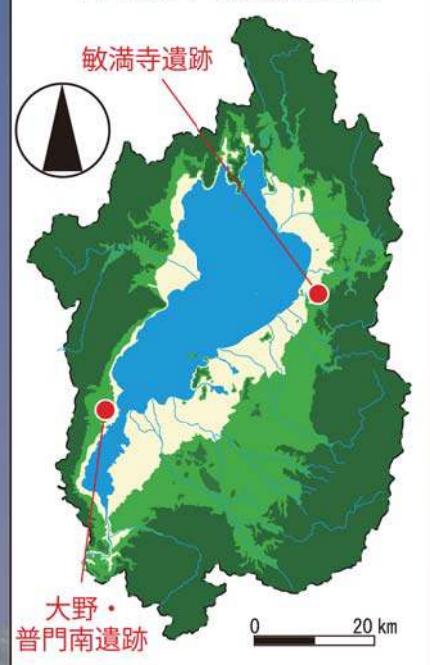


敏満寺遺跡 竪穴建物跡



大野・普門南遺跡 掘立柱建物跡

今回紹介する遺跡の位置



会場案内図

①敏満寺遺跡コーナー

②蜂屋遺跡コーナー

③大野・普門南遺跡コーナー

A 実測作業

B 接合・復元作業

C 注記作業

整理室

土器などの接合や復元、注記（マーキング）作業などを
行っています

C

B

製図室

土器などの実測や製図（トレース）作業などを行っています

A

②

収蔵庫

出土した土器や石器などを収蔵しています

②

③

順路

中庭

①

博物館ロビー